

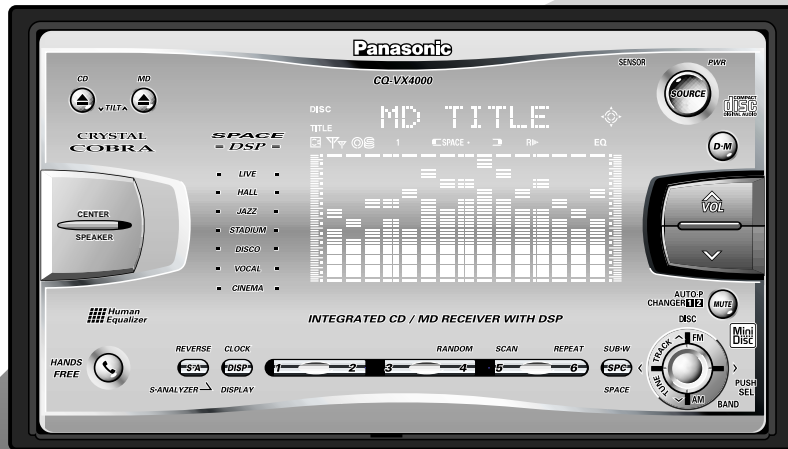
Panasonic

インテグレートッド
CD・MD・DSP レシーバー

取扱説明書

品番

CQ-VX4000D



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

CAR AUDIO
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

**Mini
Disc**

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	4
付属品の確認	7
リモコンの電池の入れかた	7
各部のなまえ	8

使いかた

共通の操作

電源を入れる	10
電源を切る	10
音量を調整する	10
音源(ソース)を選ぶ	11
パネルの角度を変える	11
時計を調整する	12
文字の表示を切り替える	13

ラジオを聴く	14
--------	----

CDを聴く	16
-------	----

MDを聴く	18
-------	----

チェンジャーで CD/MDを聴く	20
---------------------	----

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目を選ぶ	23
--------------	----

音楽や気分にあった音質を選ぶ (ヒューマンイコライザー)	24
---------------------------------	----

周波数ごとのレベル調整で音質を設定する (グラフィックイコライザー)	25
---------------------------------------	----

前後左右の音量バランスを調整する	26
------------------	----

乗車位置に合わせた音像にする	26
----------------	----

リヤースピーカーをサブウーファーとして活用し、 低音の厚みを調整する	27
---------------------------------------	----

低音域を増強する	27
----------	----

センタースピーカーの音量を調整する	28
-------------------	----

音場を再現する	29
---------	----

音場空間の広がり調整する	29
--------------	----

必要なときに

プリアウトの出力を設定する30

- 音量レベルを調整する
- 音の出るタイミングを調整する
- 低音の厚みを調整する

その他の機能を設定する

設定する機能を選ぶ32
操作時などに出る音を選ぶ33
MDタイトル表示を スクロールする/しないを選ぶ	...33
ナビの音声案内時の 本機のミュート音量を選ぶ34
スペアナ表示の動きの速さを選ぶ34
FM放送の受信を安定させる35
AM放送にステレオ効果を与える35
ディスプレイの明るさを選ぶ36
外部入力 (AUX IN) に 切り替わる/替わらないを選ぶ36
MUTE (ATT) ボタンの機能を選ぶ37

便利な機能

スペアナ表示を切り替える38
スペアナ表示をアレンジする39
交通情報を受信する40
一時的に音量を下げる41
外部機器の音声を聴く41
ナビの音声案内を聴く41
ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ	...41
電話機を持たずに通話する42

ディスクの取り扱いについて45

ディスクの保管について47

お手入れのしかた47

故障かな!?48

配線のしかた54

取り付けのしかた56

仕様58

アフターサービスについて59

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。



警告

この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。
(下記は，絵表示の一例です。)



このような絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中の操作は，前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し，操作してください。

取り付け・アース配線等に，保安部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系統・タンク等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると，事故の原因になります。説明に従い，付属品をご使用ください。

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解や改造，コードの被覆を切つて，他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火，感電，故障の原因になります。

分解禁止

故障や異常のまま使用しない



音が出ない，煙が出る，変なにおいが出る等の異常な状態で使用すると，発火・感電の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

禁止

機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると，ショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。

特に乳幼児にご注意ください。

禁止

水をかけたり，ぬらしたりしない



内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

禁止

ヒューズの交換は専門技術者に依頼する



規定以外のヒューズを使用すると，発煙・発火，故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は，お買い上げの販売店にご依頼ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など（DC24V車）には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

禁止

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



ハート型や八角形など特殊形状のCDや，プロテクトフィルムやスタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると，故障の原因になります。

禁止

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は，事故の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に 依頼する



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店にご依頼ください。

配線作業中はバッテリーの ⊖端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

運転や乗り降りをおげたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りをおげられると、事故やけがの原因になります。

コードが傷んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



- 傷つける、無理に引張る、折り曲げる、ねじる、束ねる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
- 車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないよう整形し、固定する。
- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないよう、引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液もれにより、発熱・発火、けがや故障、周囲を汚染する原因になります。



- 電池は極性表示(+と-)を確かめて、指示どおり正しく入れる。
- 指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 電池を廃棄や保存するときは、テープを巻きつけたり、ビニール袋などに入れて絶縁する。
- 充電・ショート・分解・変形・加熱・火や水の中に入れる・金属物と接触させるなどしない。
- 窓を閉め切った車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- 乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

付属品の確認

1. 取扱説明書.....	1
2. 取り付け用部品.....	ねじ一式 (P.56 参照)
3. 電源コード.....	1
4. リモコン.....	1
5. リチウム電池 (CR2025).....	1
6. 保証書.....	1
7. お客様ご相談窓口一覧表.....	1

リモコンの電池の入れかた

1. 電池ケースを出す。

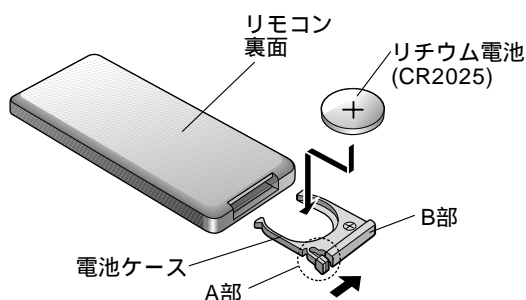
A部を矢印の方向に押しながら、B部を持って引っ張り出してください。

2. リチウム電池(CR2025)を入れる。

(+) (-) を間違えないように右図どおりに入れてください。

3. 電池ケースを入れる。

最後まできちんと入れてください。

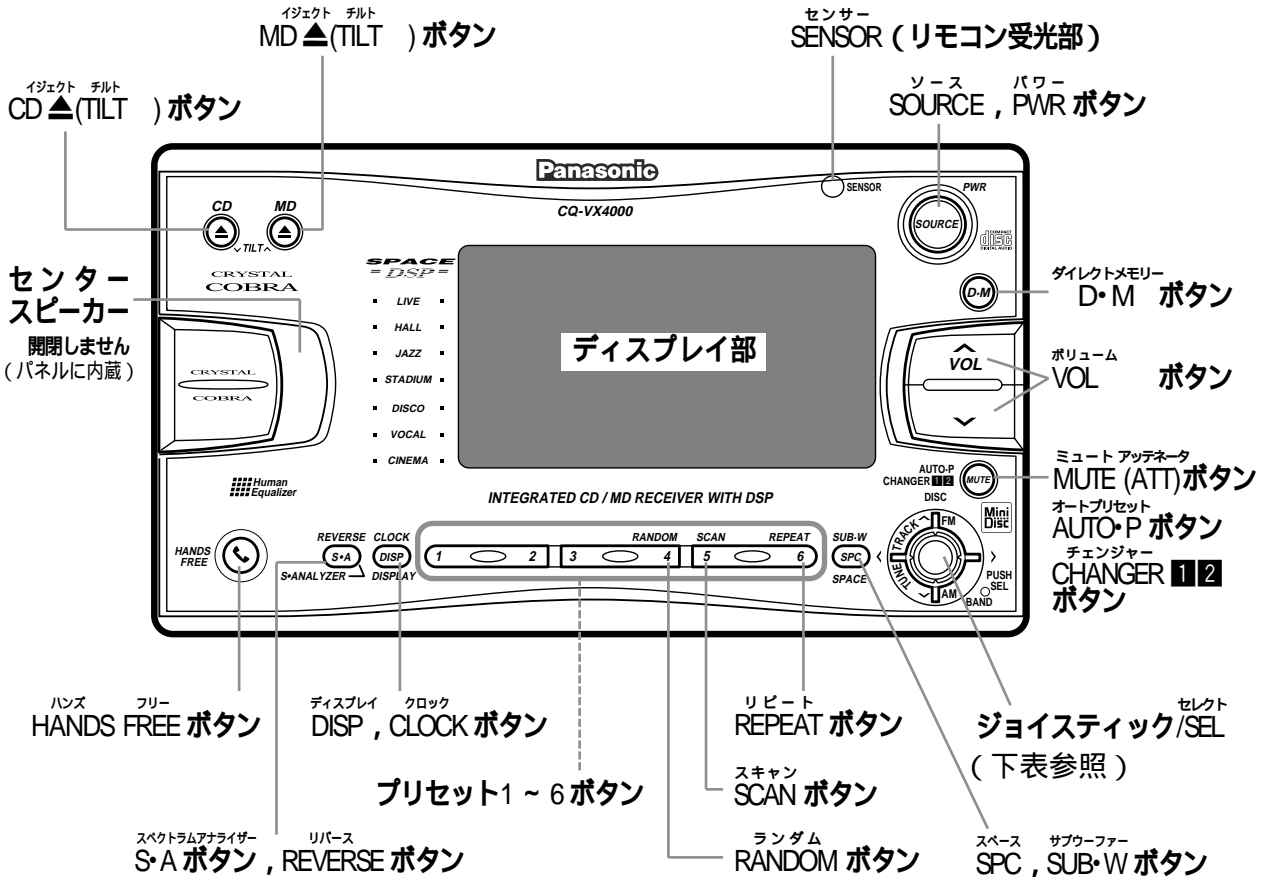


使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2025)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約6ヶ月 (常温時)

各部のなまえ

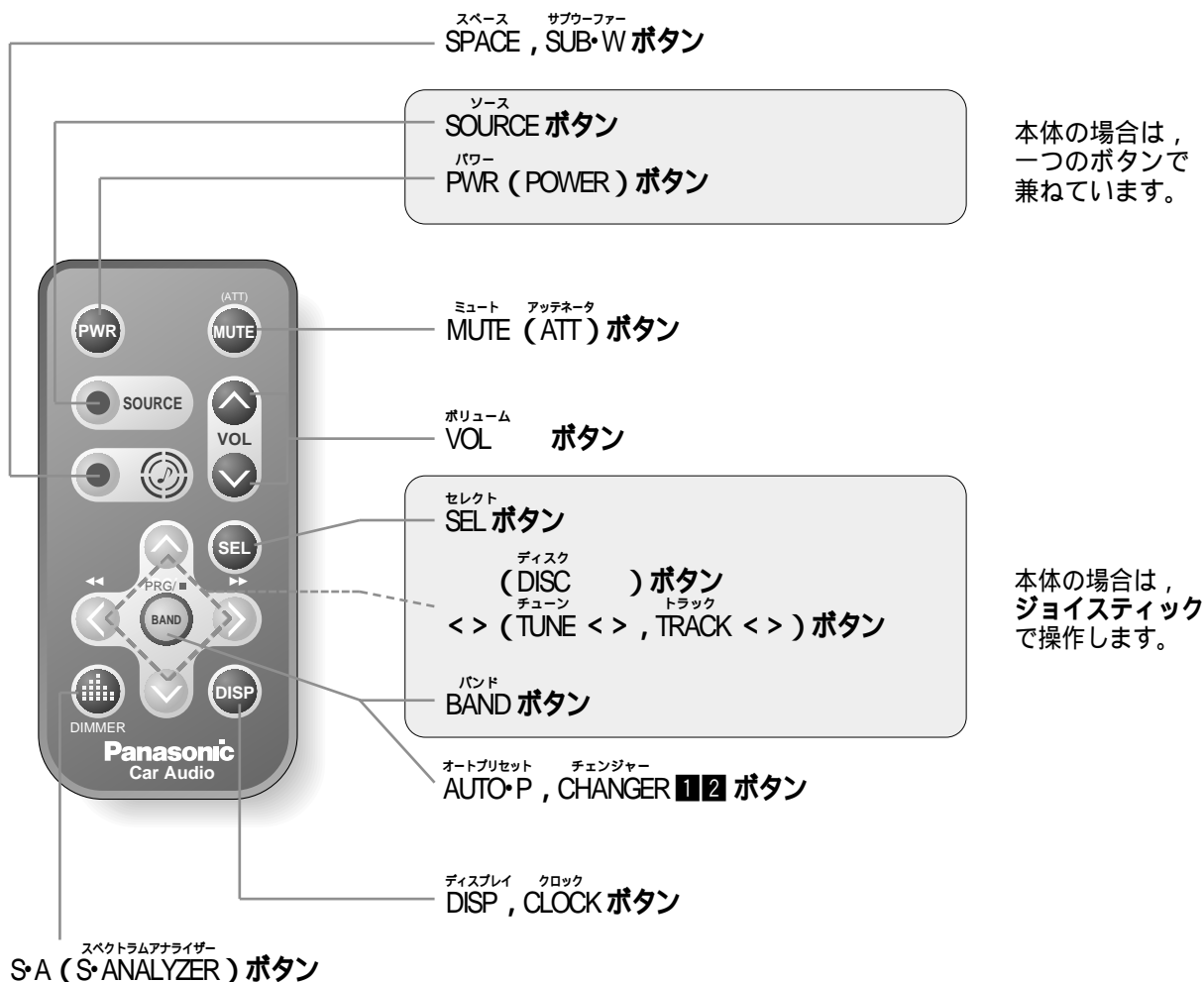
本体



ジョイスティックの操作		はたらき	リモコンの場合
	上下に倒す	<ul style="list-style-type: none"> ● DISC ● FM/AM 	ボタン BAND ボタン
	左右に倒す	<ul style="list-style-type: none"> ● < > ● TUNE < > ● TRACK < > 	< > ボタン
	上下左右に倒す	<ul style="list-style-type: none"> ● , < > 	, < > ボタン
	押す	<ul style="list-style-type: none"> ● SEL 	SEL ボタン

リモコン

本体の SENSOR (リモコン受光部) に向けて, 操作してください。(P.8 参照)
 操作は, 本体のボタンで説明しています。
 リモコンと本体にはボタンの数や操作に相違点がありますが, 特にことわりのない限り同様に操作してください。

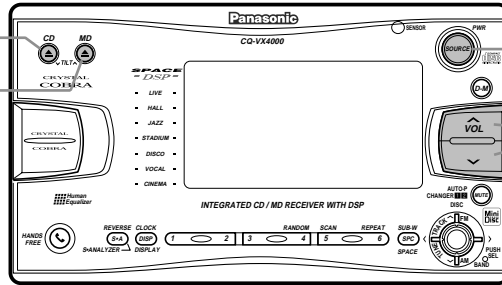


お知らせ

- 付属のリモコンは他の一部の機種にも使用できるように設計されておりますので, 本機に使用しない文字の印刷もあります。
- 次のボタンは, リモコンにはありません。本体で操作してください。
 OPEN/CLOSE ボタン, CD ▲(TILT) ボタン, MD ▲(TILT) ボタン, HANDS FREE ボタン, D•M ボタン,
 プリセット1 ~ 6 ボタン, RANDOM ボタン, SCAN ボタン, REPEAT ボタン, REVERSE ボタン

共通の操作

イジェクト チルト
CD ▲(TILT) ボタン
イジェクト チルト
MD ▲(TILT) ボタン



ソース パワー
SOURCE, PWR ボタン

ボリューム
VOL ボタン

はじめに、車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」の位置でも可)

電源を入れる

PWR ボタンを押す。



ご使用になる前に、デモモードを解除してください。 DISP ボタンを押す

- 再度、デモモードを表示させたいときは
本体のPWR ボタンを1秒以上押しして電源を入れる

電源を切る

PWR ボタンを1秒以上押す。



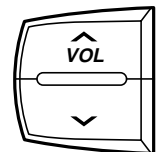
1秒以上押す

お知らせ

車のエンジンを切る(または「ACC OFF」にする)と、パネルが全閉します。

音量を調整する

VOL ボタンを押す。



お知らせ

- センタースピーカーの音量は、センタースピーカー音量レベルで調整します。(P.28 参照)
- ソース(FM, AM / CD / MD / CHANGER / AUX)ごとに記憶されるので、ソースを切り替えると音量も変わります。 インテリジェントボリューム機能

警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

注意

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

音源(ソース)を選ぶ

SOURCE ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。

TUNER CD MD CHANGER AUX IN



お知らせ

- ディスクが入っていない、チェンジャーが接続されていない、チェンジャーにマガジンが入っていないときは、そのソースに切り替わりません。
- 「AUX IN」(外部入力)をご使用にならない場合には、切り替わらないように設定できます。(P.36 参照)

パネルの角度を変える

開くときは

本体の CD ▲ (TILT ▼) ボタンを 1秒以上押す。

- 1秒以上押すごとに、パネルが開きます。 8段階



1秒以上押す

閉じるときは

本体の MD ▲ (TILT ▼) ボタンを 1秒以上押す。

- 1秒以上押すごとに、パネルが閉じます。 8段階



1秒以上押す

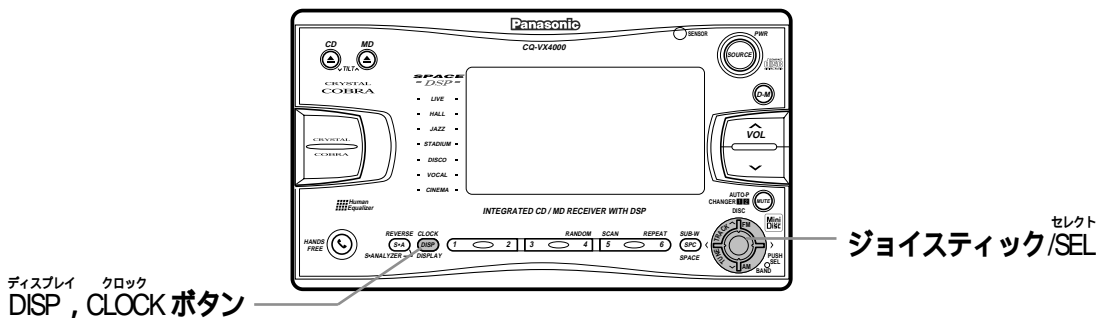
お願い

パネルは電動で開閉します。手で動かしたり、開閉を妨げたりしないでください。

お知らせ

パネルの角度は記憶されるので、次回電源を入れると、前回調整した角度で開きます。

共通の操作 (つづき)

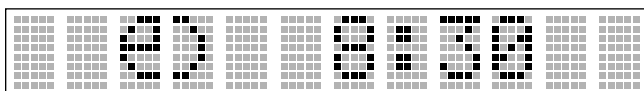


時計を調整する

- 時計は24時間表示です。
- 時計を表示するには DISP ボタンを押して、文字の表示を切り替える。(P.13 参照)

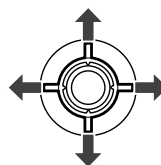
① CLOCK ボタンを2秒以上押して、時間調整モードにする。

- 時間表示が点滅します。
(初めて調整するときは、“0:00”の表示が点滅します。)



② ジョイスティックを上下左右に倒して、調整する。

- ← : 時間の調整になる。 ● 時間表示が点滅します。
- : 分の調整になる。 ● 分表示が点滅します。
- ↑ : 時 / 分が進む。
- ↓ : 時 / 分が戻る。



③ CLOCK ボタンを押して、時刻を確定する。

- 通常モードに戻り、時計が動き始めます。



時計を表示するには...

DISP ボタンを押して、切り替える。(次ページ参照)

お知らせ

- 電源が切れているときは、調整できません。
- MDタイトルのスクロールを「OFF」にして表示しているときは、時計調整できません。
MDタイトルが、一周だけスクロールします。(P.33 参照)

文字の表示を切り替える

DISP ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。



- ▶ 各ソースの通常表示
 - MDのディスクタイトル表示 (アルバム名など)
 - MDのトラックタイトル表示 (曲名など)
 - 時計表示
- ドットスペアナ表示 (スペアナのような表示)

電源が切れているときにDISP ボタンを押すと、
次のように切り替わります。

- ▶ 時計・スタンバイ (待機表示)
 - 時計のみ
 - 表示なし

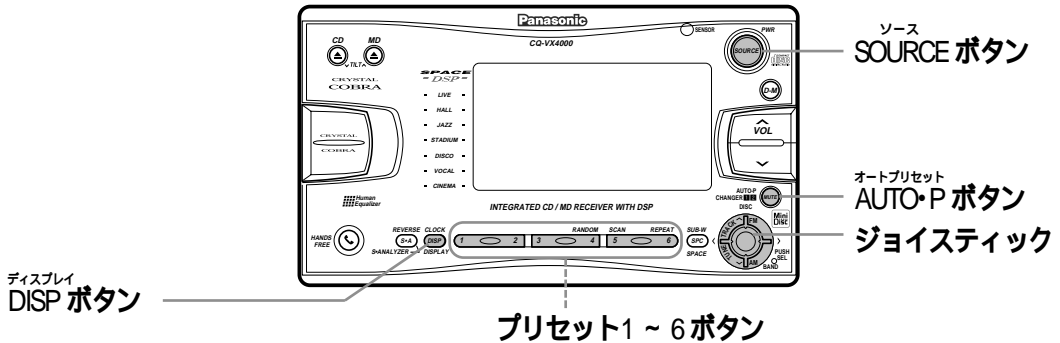
お知らせ

- 時計を調整していないときは、時計表示のときに “ ADJUST ” と表示されます。

MDタイトルについて

- ソースがMDまたはMDチェンジャーでないときは、タイトル表示に切り替わりません。
- 英数字・カタカナで表示します。(スクロール時の最大表示60文字)
- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“ NO TITLE ” と表示されます。
- MDタイトルの表示は「スクロールする/しない」を設定できます。(P.33 参照)

ラジオを聴く



ソースを「TUNER」にする

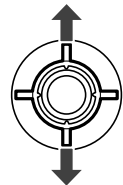
SOURCE ボタンを押す。



バンドを選ぶ

ジョイスティックを上下に倒す。

- ↑ (FM) : FMバンドが切り替わる。 FM1 FM2
- ↓ (AM) : AMバンドが切り替わる。 AM1 AM2



(リモコンは、BAND ボタンを押す。 FM1 FM2 AM1 AM2)

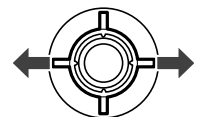
- FMステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。

放送局を選ぶ

手動選局 (順送り)

ジョイスティックを左右に倒す。

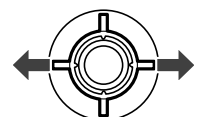
- ← (TUNE <) : 順送りで下がる。
- (TUNE >) : 順送りで上がる。



自動選局 (シーク)

ジョイスティックを左右に0.5秒以上倒す。

- ← (TUNE <) : 早送りで下がる。
- (TUNE >) : 早送りで上がる。

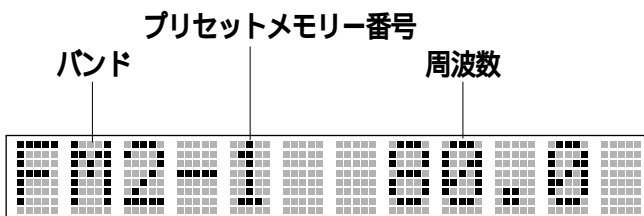


0.5秒以上倒す

- ボタンをはなした時点から探しを始め、放送局があるところで止まります。

お知らせ

- FMダイバーシティアンテナが装備されている場合に「FMダイバーシティアンテナ受信」を設定すると、FM放送の受信状態がよくなります。(P.35 参照)
- 「AMバーチャルステレオ」を設定するとAM放送にステレオ効果を与え、臨場感のある音声で楽しむことができます。(P.35 参照)



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
DISPを押す (P.13 参照)

放送局を記憶させる

手動メモリー (プリセットメモリー)

放送局を選び、
本体のプリセット1 ~ 6 ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、押したボタンにメモリーされます。
(バンドごとに6局まで可能)
- メモリーが完了すると、周波数表示が1回点滅します。

例)



2秒以上押す

自動メモリー (オートプリセットメモリー)

AUTO・P ボタンを 2秒以上押す。

- 現在受信しているバンド内で一番下の周波数から放送局を探し始め、受信状態の良い順にプリセット1 ~ 6 ボタンへ記憶されます。(バンドごとに6局まで可能)
- 終了すると、記憶された放送局が約5秒ずつ次々に呼び出されます。 スキャン



2秒以上押す

スキャンを解除するには

本体のプリセット1 ~ 6 ボタンの何れか一つを押して、聴きたい放送局を選ぶ。

例)



お知らせ

プリセットメモリーやオートプリセットメモリーをすると前に記憶されていた放送局が消去され、新しい放送局を上書きします。

記憶させた放送局を呼び出す

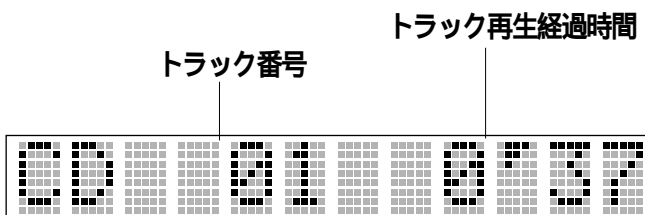
プリセット受信

本体のプリセット1 ~ 6 ボタンの何れか一つを押す。

- 現在のバンドで記憶されている放送局を呼び出して、受信します。

例)





表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から，規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと，解除)



聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から，ディスクの全曲が，約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと，解除)

- 一周すると解除され，もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは，解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が，くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと，解除)



⚠ 注意

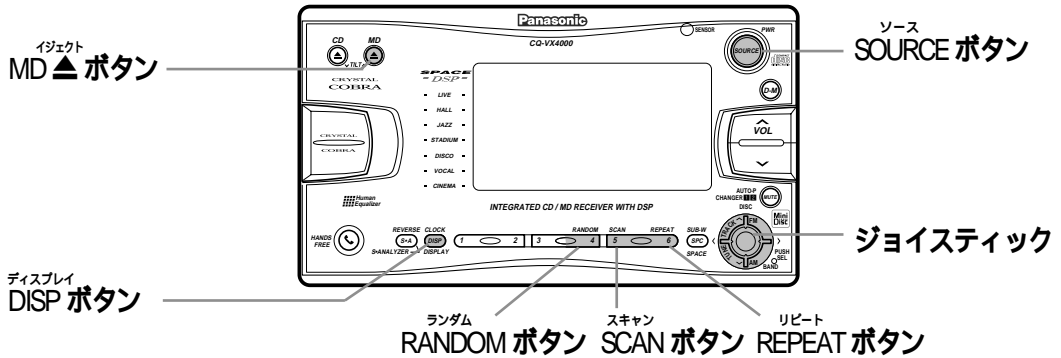


禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

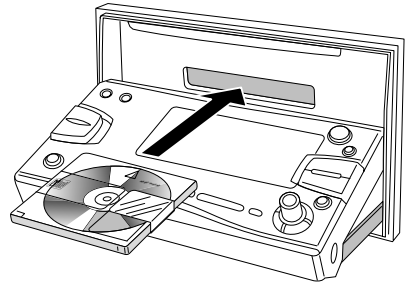
可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

MDを聴く



MDを入れる

- ① 本体の MD ▲ ボタンを押す。
● パネルが開きます。
- ② ラベル面を上側にして、MDを挿入口に差し込む。
● MDが再生されます。
● パネルが全閉し、最後に調整されていた角度に戻ります。



MDを取り出すには

本体の MD ▲ ボタンを押す。

- パネルが開き、MDがイジェクトされます。
- MDを取り出すとパネルが全閉し、最後に調整されていた角度に戻ります。
- MDモードのときに取り出すと、電源が切れます。

お願い

- パネルは手で動かしたり、開閉を妨げたりしないでください。
- MDの挿入方向と表裏をご確認ください。無理に挿入すると、故障の原因になります。
- 開いたパネルの上に物を置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

ソースを「MD」にする

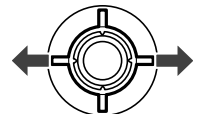
SOURCE ボタンを押す。



聴きたい曲を選ぶ

ジョイスティックを左右に倒す。

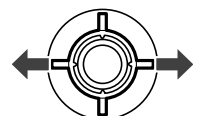
- ← (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



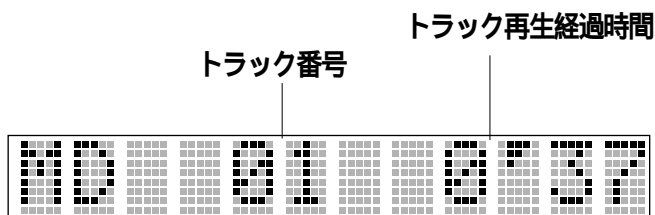
早戻し/早送りをする

ジョイスティックを左右に0.5秒以上倒し、聴きたいところではなす。

- ← (TRACK <) : 早戻しする。
- (TRACK >) : 早送りする。



0.5秒以上倒す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
(MDタイトル情報も表示できます)
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から，規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと，解除)



聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から，ディスクの全曲が，約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと，解除)

- 一周すると解除され，もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは，解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が，くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと，解除)



⚠ 注意

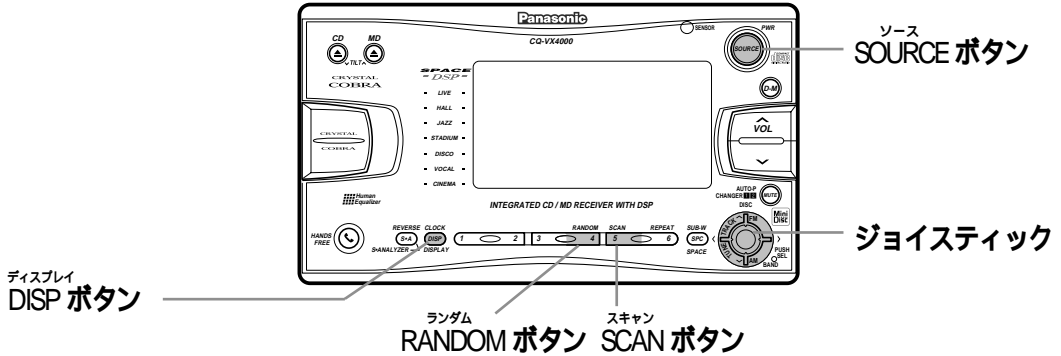


禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

チェンジャーでCD/MDを聴く



別売のCDチェンジャー (CX-DP1205D等) や MDチェンジャー (CX-MD6D) を接続してください。

ソースを「CHANGER」にする

SOURCE ボタンを押す。



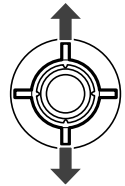
お知らせ

- マガジンの中にディスクが1枚も入っていないときは、“NO DISC” と表示されます。
- チェンジャーにマガジン (ディスク) を入れると本機の電源が入ります。(ソースが「CHANGER」に切り替わる)

聴きたいディスクを選ぶ

ジョイスティックを上下に倒す。

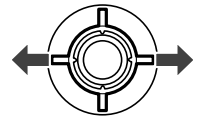
- ↑ (DISC) : 次のディスクに替わる。
- ↓ (DISC) : 前のディスクに替わる。



聴きたい曲を選ぶ

ジョイスティックを左右に倒す。

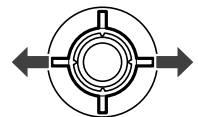
- ← (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



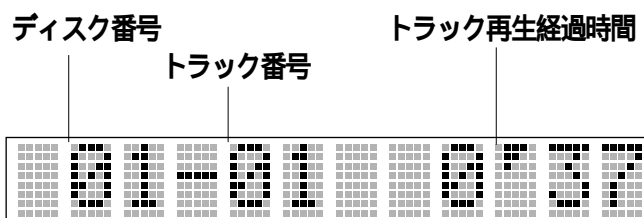
早戻し/早送りをする

ジョイスティックを左右に0.5秒以上倒し、聴きたいところではなす。

- ← (TRACK <) : 早戻しする。
- (TRACK >) : 早送りする。



0.5秒以上倒す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
(MDは、タイトル情報も表示できます)
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

トラックランダムプレイ

チェンジャー内の全ディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



ディスクランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)



2秒以上押す

聴きたい曲やディスクを探す

トラックスキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、解除してください。



ディスクスキャンプレイ

現在再生しているディスクの次から、チェンジャー内の全ディスクの1曲目だけが、約10秒ずつ再生されます。

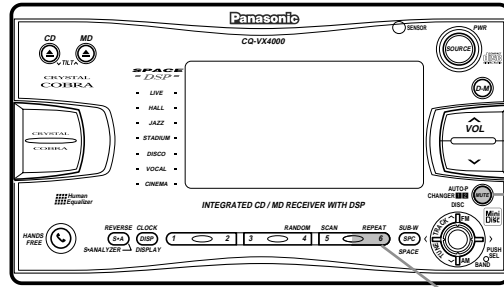
本体の SCAN ボタンを 2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとのディスクの始めに戻ります。
- 聴きたいディスクが見つかったときは、解除してください。



2秒以上押す

チェンジャーでCD/MDを聴く(つづき)



チェンジャー
CHANGER 1 2 ボタン

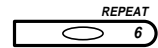
リピート
REPEAT ボタン

同じ曲やディスクをくり返し聴く

トラックリピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタン を押す。(再度押すと、解除)



ディスクリピートプレイ

現在再生しているディスクが、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタン を 2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)



2秒以上押す

2台のチェンジャーを切り替える

ツインチェンジャー

別売のツインCDチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) で接続してください。(P.55 参照)

CHANGER 1 2 ボタンを2秒以上押す。
(リモコンは、BANDボタンを押す。)



2秒以上押す

- 2秒以上押すごとに、2台のチェンジャーが切り替わります。

CHANGER 1

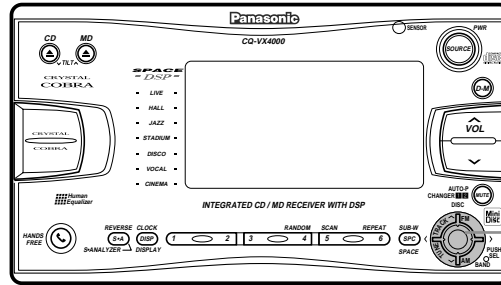
CHANGER 2

お知らせ

- ツインCDチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) にチェンジャーを1台しか接続しない場合には、CHANGER 1 に接続してください。
- チェンジャーを2台接続していて修理などで1台はずしたときに操作できない場合は、もう片方に接続し直してください。

CHANGER 1 に接続時 2 に接続し直す / CHANGER 2 に接続時 1 に接続し直す

サウンド・音場を設定する



セレクト
ジョイスティック/SEL

サウンド設定の機能を選ぶ

サウンドコントロール

SEL ボタンを押して，項目を選ぶ。

- 押すごとに，次のように切り替わります。



▶ 通常モード

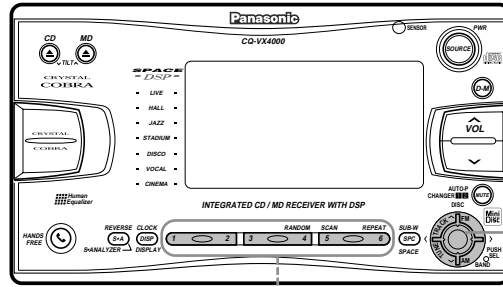
- HUMAN EQ : 音楽や気分に合った音質を選ぶ(ヒューマンイコライザー)(P.24 参照)
- GRAPHIC EQ : 周波数ごとのレベル調整で音質を調整する(グラフィックイコライザー)(P.25 参照)
- BAL//FAD : 前後左右の音量バランスを調整する(P.26 参照)
- POSITION SEL : 乗車位置に合わせた音像にする(P.26 参照)
- SUPER BASS : リヤスピーカをサブウーファーとして活用し,低音の厚みを調整する(P.27 参照)
- SDBB SELECT : 低音域を増強する(P.27 参照)
- CENTER LEVEL : センタースピーカ-の音量を調整する(P.28 参照)

各々の項目の設定は，P.24～29 をご覧ください。

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには DISPボタンを押す。

サウンド・音場を設定する (つづき)



セレクト
ジョイスティック/SEL

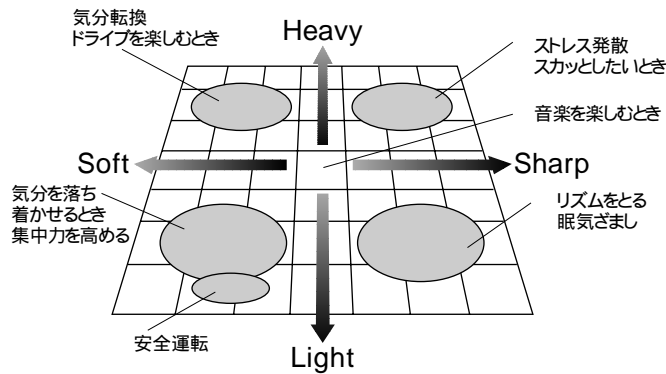
プリセット1～6ボタン

音楽や気分に合った音質を選ぶ (ヒューマンイコライザー)

HEQ

音楽のジャンルや自分の気分に合った音質を設定してください。

(縦軸：低音域の豊かさ, 横軸：高音域の明かさ) [初期設定：FLAT (0), 調整範囲：各1～3 (49パターン)]

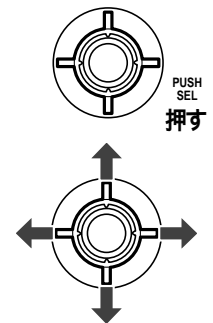


① SEL ボタンを押して「HUMAN EQ」を選ぶ。(P.23 参照)

② ジョイスティックを上下左右に倒して, 調整する。

- ↑ (HEAVY) : 豊かな低音に変化する。
- ↓ (LIGHT) : 軽快な低音に変化する。
- ← (SOFT) : 柔らかな高音に変化する。
- (SHARP) : 歯切れのよい高音に変化する。

● HEQ 表示部の中でカーソルが移動し, 調整した位置で点滅します。

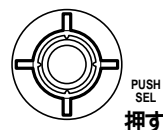


周波数ごとのレベル調整で音質を設定する(グラフィックイコライザー)

G E Q

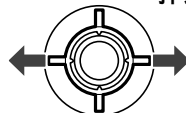
- ① SEL ボタンを押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.23 参照)

[初期設定：各周波数 0 dB，調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB (2 dBごと)]



- ② ジョイスティックを右に倒して，周波数を選ぶ。(左に倒す：逆回り)

80 160 320 640 1.6 k 4 k 10 k (Hz)

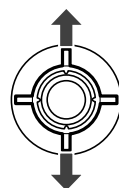


- カーソルが左右方向に移動し，選択している周波数が点滅します。

- ③ ジョイスティックを上下に倒して，レベルを調整する。

↑：レベルが上がる。

↓：レベルが下がる。



- カーソルが上下方向に移動し，調整したレベルで点滅します。

- ②③を繰り返して，各周波数のレベルを設定します。

調整した音質を記憶する

本体のプリセット1～6ボタンの何れか一つを，2秒以上押す。

- 現在のGEQカーブ特性が，押したボタンに記憶されます。
- 記憶が完了すると，プリセットメモリー番号の表示が1回点滅します。

例)



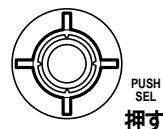
2秒以上押す

お知らせ

前に記憶されていたGEQカーブ特性を消去し，新しいGEQカーブが上書きされます。

記憶した音質を呼び出す

- ① SEL を押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.23 参照)



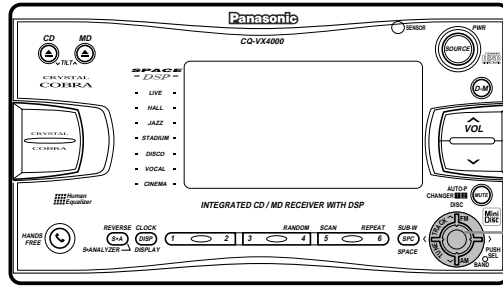
例)



- ② 本体のプリセット1～6ボタンの何れか一つを押す。

- メモリーされているGEQカーブ特性を呼び出します。

サウンド・音場を設定する (つづき)



セレクト
ジョイスティック/SEL 押す

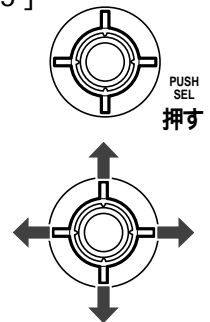
前後左右の音量バランスを調整する

バランス/フェダー [初期設定 : CNT (センター), 設定範囲 : 各 15]

- ① SEL ボタンを押して「BAL/FAD」を選ぶ。(P.23 参照)

ジョイスティックを上下左右に倒して, 調整する。

- ↑ (FRONT) : 前方を強調する。
- ↓ (REAR) : 後方を強調する。
- ← (LEFT) : 左側を強調する。
- (RIGHT) : 右側を強調する。



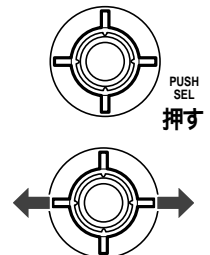
乗車位置に合わせた音像にする

ポジション [初期設定 : OFF]

- ① SEL ボタンを押して「POSITION SEL」を選ぶ。(P.23 参照)

- ② ジョイスティックを右に倒して, 設定する。(左に倒す : 逆回り)

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| OFF (全席) | RIGHT (前席右) | LEFT (前席左) |
| REAR (後席) | | FRONT (前席) |

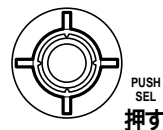


リヤースピーカーをサブウーファーとして活用し、 低音の厚みを調整する

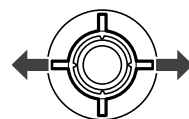
スーパーベースコントロール・サブウーファー (SBC-SW) [初期設定: SBC-SW OFF]

プリアウト端子に別売の外部アンプを接続した場合には、プリアウト設定でサブウーファー出力を調整してください。(P.30 参照)

- ① SEL ボタンを押して「SUPER BASS」を選ぶ。(P.23 参照)
- ② ジョイスティックを右に倒して、設定する。(左に倒す: 逆回り)



OFF FLAT 100 150 200 (Hz)



- OFF : 出力がステレオになる。
- FLAT : 出力がモノラルになる。高音域をカットをしない。
- 100,150,200 : 出力がモノラルになる。高音域をカットをする。
設定値が、出力する低域周波数の上限(カットオフ周波数)になります。

お知らせ

SBC-SWを「OFF」以外に設定した場合には

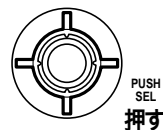
- カットオフ周波数がサブウーファー出力と連動し、同じ設定値になります。
- 音量レベル・ディレイ時間を、サブウーファー出力で調整してください。(P.30 ~ 31 参照)

低音域を増強する

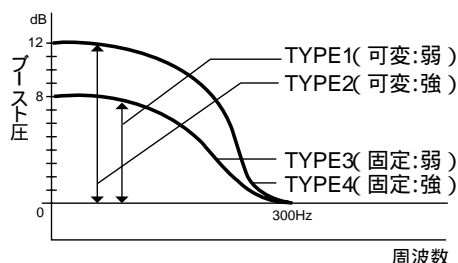
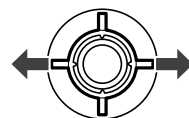
スーパーダイナミックバスブースト (SDBB) [初期設定: SDBB OFF]

内蔵アンプ接続の4スピーカーから出力される低音域を増強して、重低音が楽しめます。

- ① SEL ボタンを押して「SDBB SELECT」を選ぶ。(P.23 参照)
- ② ジョイスティックを右に倒して、設定する。(左に倒す: 逆回り)



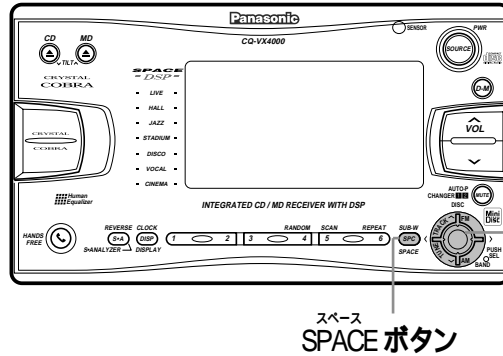
- OFF : 通常出力(低音域を増強しない)
- TYPE 1 : 可変・弱
- TYPE 2 : 可変・強
- TYPE 3 : 固定・弱
- TYPE 4 : 固定・強



可変: 低音を音量レベルに合わせて増強する。
バランスよい低音になる。

固定: 低音を設定された幅で増強する。
とにかく迫力のある低音になる。

サウンド・音場を設定する (つづき)



ジョイスティック/SEL

スペース
SPACE ボタン

センタースピーカーの音量を調整する

調整の手順

調整する前に、DSP効果のない状態に戻してください。

DSP効果のない状態：ディレイ時間「0 ms」、SPACE (スペース)「SPACE OFF」

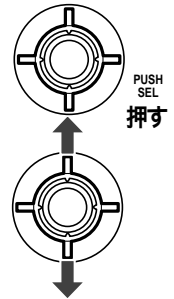
1. **センタースピーカーの音量レベルを調整する**
ヴォーカル等の中音域の音像が、フロント中央付近に定位するように調整してください。
2. **ディレイ時間やSPACE (スペース)を調整する**
3. **センタースピーカーの音量レベルを再調整する**
SPACEの設定に合わせて再調整してください。

① SEL ボタンを押して「CENTER LEVEL」を選ぶ。(P.23 参照)

① ジョイスティックを上下に倒して、項目を切り替える。

- ↑ (CENTER LEVEL) : センタースピーカーの音量レベルを調整する
- ↓ (CENTER DELAY) : センタースピーカーのディレイ時間を調整する

② ジョイスティックを左右に倒して、調整する。



センタースピーカーの音量レベルを調整するとき

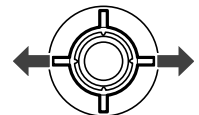
センタースピーカー音量レベル

[初期設定 : 0 dB , 調整範囲 : - dB , - 10 dB ~ + 10 dB (2 dBごと)]

「CENTER LEVEL」を選び、

- ← : レベルが下がる。
- : レベルが上がる。

- dB , - 10dB 0 dB + 10dB
- dB : センタースピーカーから音が出なくなる。

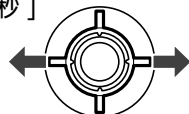


距離感を調整するときは

センタースピーカーディレイ時間

センタースピーカー出力に時間差（ディレイ時間）を与えて，耳に届くタイミングを調整します。
[初期設定：0 ms，調整範囲：-10 ms ~ +10 ms（1 msごと） 1 ms = 0.001 秒]

「CENTER DELAY」を選び，



- ← : ディレイ時間が短くなり，音像が近くなる。
（他のスピーカーよりも，センタースピーカーの出力の方が早くなる）
- : ディレイ時間が長くなり，音像が遠くなる。
（他のスピーカーよりも，センタースピーカーの出力の方が遅くなる）

- 10 ms 0 ms + 10 ms

0 ms : 他のスピーカーとセンタースピーカーの出力タイミングが同じになる。

音場を再現する

SPACE（スペース） [初期設定：SPACE OFF]

実際に演奏会場にいるような音場（スペース）を車室内に再現できます。

SPACE ボタンを押す。

- 押すごとに，次のように切り替わります。（左に回す：逆回り）

SPACE OFF	LIVE HOUSE	CONCERT HALL
CINEMA		JAZZ CLUB
VOCAL	DISCO	STADIUM



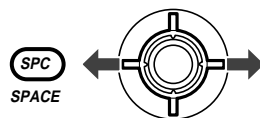
音場空間の広がり調整する

WIDE / NARROW [初期設定：0，設定範囲：-3 ~ +3]

設定した音場に対して，さらに空間の広がりを調整できます。

SPACE ボタンを押して音場を設定したあと，ジョイスティックを左右に倒して調整する。

- ←（WIDE） : 音場空間が広がる。
- （NARROW） : 音場空間が狭くなる。



例)音場が“HALL”の場合

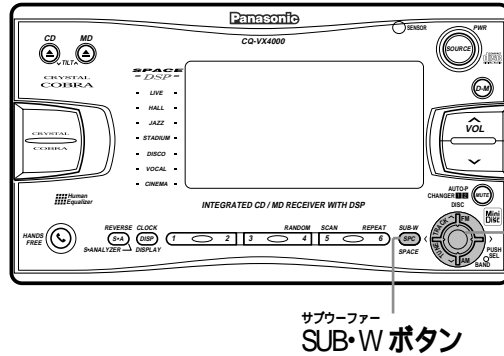
WIDE大きいホールの雰囲気再現します。

NARROW小さいホールの雰囲気再現します。

お知らせ

- 音場は，ソース（FM，AM / CD / MD / CHANGER / AUX IN）ごとに設定できます。
- D・Mモード中（P.40 参照），およびHFモード中（P.42 参照）は無効になります。

プリアウトの出力を設定する



プリアウト端子に別売の外部アンプを接続してください。(P.54 参照)
接続されない場合には、リヤスピーカーをサブウーファーとしてご活用ください。(P.27 参照)

デジタルダイナミックベースコントロール (DDBC)

① SUB・W ボタンを2秒以上押して、プリアウト設定モードにする。

SUB・W



2秒以上押す

② SUB・W ボタンを押して、出力を切り替える。

押す

- 押すごとに、次のように切り替わります。[初期設定 : DDBC SUB・W]

DDBC SUB・W : サブウーファー出力 …… 音量レベル,ディレイ時間,カットオフ周波数を調整できます。
● 別売のサブウーファースピーカーを接続した場合

DDBC FRONT : フロントプリアウト
● 汎用のシステムアップ用スピーカーを接続した場合

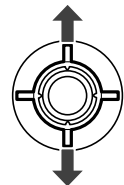
サブウーファー出力にしたときは…

③ ジョイスティックを下に倒して項目を選び、(上に倒す：逆回り)

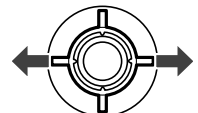
➔ DDBC LEVEL : 音量レベルを調整する
(SW - LEVEL)

DDBC DELAY : 音の出るタイミングを合わせる
(SW - DELAY)

LPF SELECT : 高音域をカットして低音の厚みを調整する
(LPF)



④ ジョイスティックを左右に倒して、調整する。(P.31 参照)



お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- サブウーファー出力の場合はモノラル出力,フロントプリアウトの場合はステレオ出力になります。

音量レベルを調整する

DDBC 音量レベル

[初期設定 : 0 dB , 調整範囲 : - dB , - 10 dB ~ + 10 dB (2 dBごと)]

“ DDBC SUB・W ” の「 DDBC LEVEL 」を選ぶ。

- ← : レベルが下がる。 - dB , - 10dB 0 dB + 10dB
 → : レベルが上がる。 - dB : PRE-OUTに接続したアンプから音が出なくなる。

音の出るタイミングを調整する

DDBC ディレイ時間

サブウーファーの出カタイミングを調整して、音が耳に届く時間差 (ディレイ時間) をなくし、量感のある重低音を再生します。 [初期設定 : 0 ms , 調整範囲 : - 10 ms ~ + 10 ms (1 msごと) 1 ms = 0.001 秒]

“ DDBC SUB・W ” の「 DDBC DELAY 」を選ぶ。 (P.30 参照)

- ← : ディレイ時間が短くなる。
 (スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が早くなる。)
 → : ディレイ時間が長くなる。
 (スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が遅くなる。)

- 10 ms 0 ms + 10 ms

0 ms : スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。

低音の厚みを調整する

DDBC カットオフ周波数

[初期設定 : FLAT]

出力する低域周波数の上限 (カットオフ周波数) 設定で、高音域をカットします。

“ DDBC SUB・W ” の「 LPF SELECT 」を選ぶ。 (P.30 参照)

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。 (左に倒す : 逆回り)

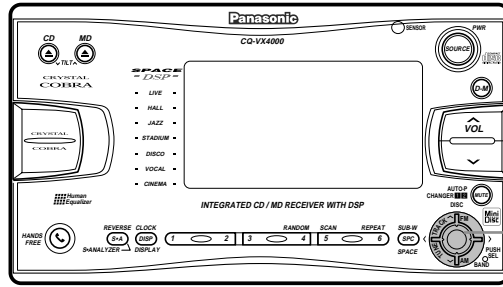
FLAT 100 150 200 (Hz)

FLAT : 高音域をカットをしない通常のモノラル出力。

お知らせ

- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数や位相差調整機能を使用する場合は、本機のDDBC カットオフ周波数を「FLAT」、DDBC ディレイ時間を「0 ms」にしてください。
- SDBBを設定すると、さらに重低音の効果が得られます。(P.27 参照)
- サブウーファー出力の調整値 (音量レベル、ディレイ時間、カットオフ周波数) は、SBC-SWを「OFF」以外に設定した場合 (P.27 参照) のリヤースピーカー出力、およびリヤースピーカウトと連動し、同じ設定値になります。

その他の機能を設定する

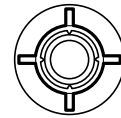


ジョイスティック/SEL ^{セレクト}

設定する機能を選ぶ

機能コントロール

SEL ボタンを2秒以上押し、
再度 SEL ボタンを押して項目を切り替える。



2秒以上押し

PUSH SEL 押す

- 押すごとに、次のように切り替わります。

通常モード

- ▶ SIGNAL SEL : 操作時などに出る音を選ぶ (P.33 参照)
- TITLE SCROLL : MDタイトル表示をスクロールする/しないを選ぶ (P.33 参照)
- MUTING SEL : ナビの音声案内時の本機のミュート音量を選ぶ (P.34 参照)
- SPEANA SPEED : スペアナ表示の動きの速さを選ぶ (P.34 参照)
- DIVER SELECT : FM放送の受信を安定させる (P.35 参照)
- AM V・ST SEL : AM放送にステレオ効果を与える (P.35 参照)
- DIMMER SEL : ディスプレイの明るさを選ぶ (P.36 参照)
- AUX IN SET : 外部入力(AUX IN)に切り替わる/替わらないを選ぶ (P.36 参照)
- MUTE KEY SEL : MUTE (ATT)ボタンの機能を選ぶ (P.37 参照)

各々の項目の設定は、P.33 ~ 37 をご覧ください。

お知らせ

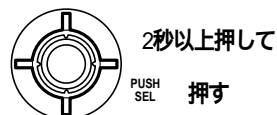
- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには DISPボタンを押す。

操作時などに出る音を設定する

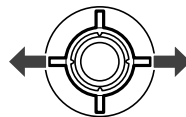
シグナル音/ビープ音

[初期設定 : SIGNAL SOUND / レベル 2]

- ① SEL ボタンで「SIGNAL SEL」を選ぶ。(P.32 参照)



- ② ジョイスティックを右に倒して、切り替える。(左に倒す：逆回り)



▶ SIGNAL SOUND : 操作ごとに違ったシグナル音が出る。

SIGNAL BEEP1 : タイプ「1」のビープ音が出る。

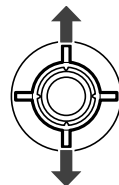
SIGNAL BEEP2 : タイプ「2」のビープ音が出る。

SIGNAL BEEP3 : タイプ「3」のビープ音が出る。

SIGNAL OFF : 操作音をなくす。(出なくなる)

- ③ ジョイスティックを上下に倒して、音量レベルを調整する。

調整範囲 : レベル1 (小さい) ~ レベル3 (大きい)

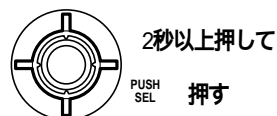


MDタイトル表示をスクロールする/しないを選ぶ

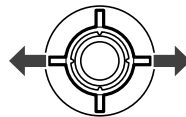
タイトルスクロール

[初期設定 : SCROLL ON]

- ① SEL ボタンで「TITLE SCROLL」を選ぶ。(P.32 参照)



- ② ジョイスティックを右に倒して、切り替える。(左に倒す：逆回り)



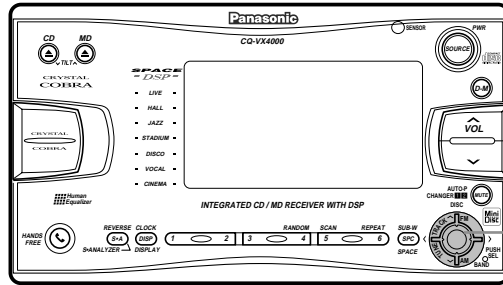
▶ SCROLL ON : 表示が連続してスクロールする。

SCROLL OFF : 表示が一周スクロールしたあと、静止する。

お知らせ

MDタイトルスクロールが“OFF”のときにDISP ボタンを2秒以上押すと、一周だけスクロールすることができます。再スクロール

その他の機能を設定する (つづき)



ジョイスティック/SEL セレクト

ナビの音声案内時の本機のミュート音量を設定する

ナビミュート音量 [初期設定：MUTING ON]

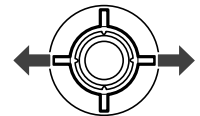
別売のカーナビゲーション (CN-DV3300GWD等) を接続し、ナビミュートコードを接続してください。(P.54 参照)

① SEL ボタンで「MUTING SEL」を選ぶ。(P.32 参照)



② ジョイスティックを右に倒して、切り替える。(左に倒す：逆回り)

- ▶ MUTING ON : 本機の音量が 0 (無音) になる。
- ▶ MUTING HALF : 本機の音量が約 1/10 に下がる。
- ▶ MUTING OFF : 本機の音量は通常のまま変わらない。



お知らせ

- ナビミュートがはたらいているときは、「MUTING (HALF)」と表示されます。
- ナビミュート音量レベルの設定が「MUTING OFF」のときのみ、VOL ボタンで本機の音量を調整できます。
- ハンズフリー通話機能 (P.42 参照) をご使用になるときは、ナビミュート音量を「HALF」または「OFF」にしておくことをおすすめ致します。(ナビミュート中は電話の着信が検出しにくくなるため)

スペアナ表示の動きの速さを設定する

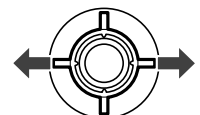
スペアナスピード [初期設定：SPEANA FAST]

① SEL ボタンで「SPEANA SPEED」を選ぶ。(P.32 参照)



② ジョイスティックを右に倒して、切り替える。(左に倒す：逆回り)

- ▶ SPEANA FAST : スペアナ表示の動きが速くなる。
- ▶ SPEANA SLOW : スペアナ表示の動きが遅くなる。



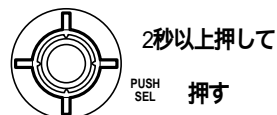
FM放送の受信を安定させる

FMダイバーシティアンテナ受信 [初期設定：DIVER OFF]

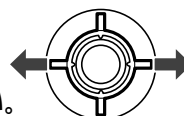
FMダイバーシティアンテナが装備されている場合に有効な機能です。

メインアンテナの受信状態が悪いときに、自動的にサブアンテナに切り替えて受信します。

① SEL ボタンで「DIVER SELECT」を選ぶ。(P.32 参照)



② ジョイスティックを右に倒して、設定する。(左に倒す：逆回り)



- ▶ DIVER OFF : ダイバーシティアンテナを使用しない。接続していない。
- └ DIVER ON : ダイバーシティアンテナを使用する。

お知らせ

FM放送を受信しているときのみ、切り替えられます。

AM放送にステレオ効果を与える

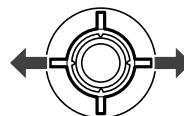
AMバーチャルステレオ [初期設定：AM V・ST OFF]

AM放送を臨場感ある音声で楽しむことができます。(通常のAMステレオ放送の受信とは異なります。)

① SEL ボタンで「AM V・ST SEL」を選ぶ。(P.32 参照)



② ジョイスティックを右に倒して、設定する。(左に倒す：逆回り)

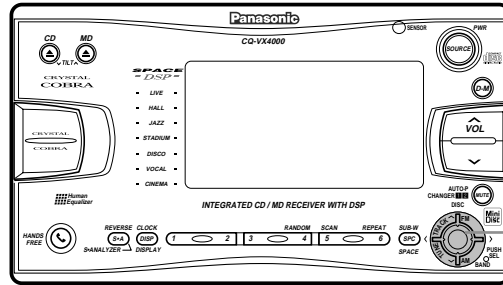


- ▶ AM V・ST OFF : AM放送を通常の音声で聴く。
- └ AM V・ST ON : AM放送にステレオ効果を与えて聴く。

お知らせ

- AM放送を受信しているときのみ、切り替えられます。
- 音場の設定 (SPACE) が優先されます。(P.29 参照)

その他の機能を設定する(つづき)



ジョイスティック/SEL セレクト

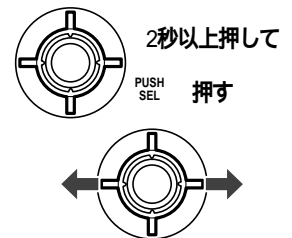
ディスプレイの明るさを選ぶ

ディマー

ディスプレイの明るさが、車のライトのON/OFFと連動して切り替わります。
[初期設定：ライトON時MID, ライトOFF時 . . . HIGH]

- ① SEL ボタンで「DIMMER SEL」を選ぶ。(P.32 参照)
- ② ジョイスティックを右に倒し、選択する。(左に倒す：逆回り)

- ▶ DIMMER HIGH : 明るくなる
- ▶ DIMMER MID : 中間の明るさになる
- ▶ DIMMER LOW : 暗くなる



お知らせ

リモコンは、DIMMERボタンを2秒以上押すごとに切り替わります。

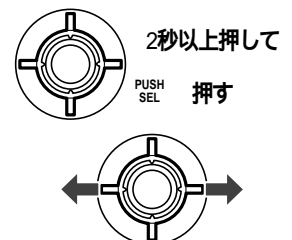
外部入力(AUX IN)に切り替わる/替わらないを選ぶ

AUX IN 設定 [初期設定：AUX IN ON]

外部入力をご使用にならないときは、ソースを選ぶときに AUX へ切り替わらないよう設定できます。

- ① SEL ボタンで「AUX IN SET」を選ぶ。(P.32 参照)
- ② ジョイスティックを右に倒し、選択する。(左に倒す：逆回り)

- ▶ AUX IN ON : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わる。
- ▶ AUX IN OFF : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わらない。

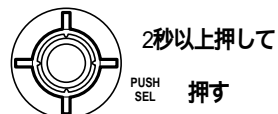


MUTE(ATT)ボタンの機能を選ぶ

MUTE ボタン設定 [初期設定 : MUTE KEY]

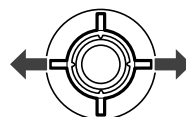
MUTE (ATT) ボタンを押したときの音量の上がりかたを選んでください。

① SEL ボタンで「MUTE KEY SEL」を選ぶ。(P.32 参照)

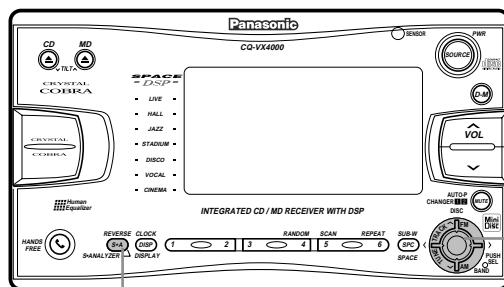


② ジョイスティックを右に倒す。(左に倒す : 逆回り)

- ▶ MUTE KEY : 音量の上がりかたが , 0 (無音) になる。 MUTE
- └ ATT KEY : 音量の上がりかたが , 約 1/10 になる。 ATT



便利な機能



スピーナ リバース
S・A, REVERSE ボタン

ジョイスティック

スピーナ表示を切り替える

スピーナ表示 [初期設定：WAVE]

S・A ボタンを押す。

● 押すごとに、次のように切り替わります。(13種類)



- ① WAVE : スペースファンタジーの幕開けを予感させるシンプルなスピーナ。
- ② AURORA : 天にかかるオーロラのイメージ。
- ③ MILKY WAY : 宇宙空間に流れる雄大な天の川をイメージ。
- ④ TWINKLE STAR : 無数の星の瞬く瞬間をイメージ。
- ⑤ SUN : サンサンと降りそそぐ暖かさをイメージ。
- ⑥ SPC SARGASSO : 漂流する星のかけらの果てしない旅をイメージ。
- ⑦ BIG BANG : 宇宙創世。星の誕生をイメージ。
- ⑧ FLARE : 太陽から宇宙空間へのエネルギー解放現象をイメージ。
- ⑨ PROMINENCE : 太陽の表面で燃え上がる炎をイメージ。
- ⑩ METEOR : 無限に広がる宇宙空間を駆け巡る、流星群をイメージ。
- ⑪ SPACE FEVER : ある周波数の一定のレベルをキャッチすると、スロットがフィーバー目指して回る。
- ⑫ BLANK SPEANA : スピーナ表示だけを消灯する。
- ⑬ ALL DISP OFF : ディスプレイ全体を消灯する。
● 操作をすると点灯し、操作を終えたあと(約5秒後)に再び消灯します。

お知らせ

文字部のドットスピーナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

スペアナ表示をアレンジする

スペアナアレンジ [初期設定：NORMAL / SPEANA POSI]

それぞれのスペアナ表示ごとに、色調や動きのパターンを8通りに変化させることができます。(スペアナ表示①～⑪のみ)

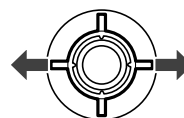
① 本体の REVERSE ボタンを2秒以上押して、



② ジョイスティックを上下左右に倒す。

方向転換させる

右に倒して、切り替える。(左に倒す：逆回り)



▶ NORMAL	: 通常のスペアナ表示。 (REVERSE 3の左右が反転する。)	
REVERSE 1	: NORMALの上下が反転する。	
REVERSE 2	: REVERSE 1の左右が反転する。	
REVERSE 3	: REVERSE 2の上下が反転する。	

ネガとポジを反転させる

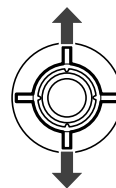
上または下に倒して、切り替える。



SPEANA POSI
(ポジ)



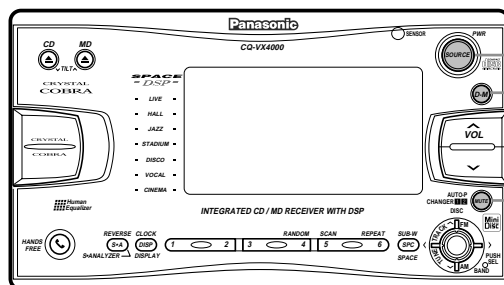
SPEANA NEGA
(ネガ)



お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 文字部のドットスペアナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

便利な機能 (つづき)



ソース
SOURCE ボタン

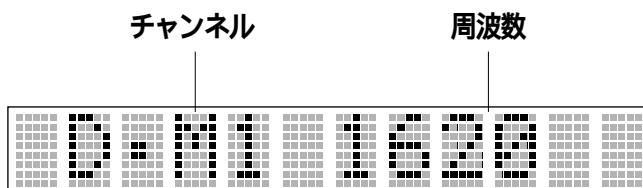
ダイレクトメモリー
D・M ボタン

ミュート アッテネータ
MUTE (ATT) ボタン

交通情報を受信する

ダイレクトメモリー (D・M)

交通情報とメモリーさせた好みの放送局を、ボタン1つで簡単に受信します。電源が切れているときでも、どのソースからでも受信できます。



本体の D・M ボタンを押す。

- 押すごとに次のように切り替わります。



▶ D・M 1 : 交通情報 AM 1620 kHz を受信する。(固定)

D・M 2 : ユーザーメモリーに書き込んだ放送局を受信する。

通常モード : もとのソースになる。(OFFを含む)

D・M2 (ユーザーメモリー) に好みの放送局を書き込む

- ① 好みのバンドと放送局を選ぶ。(P.14 参照)

- ② 本体の D・M ボタンを2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、D・M 2 にメモリーされます。



2秒以上押す

お知らせ

- D・M 1 は AM 1620 kHz に固定されているので、書き込めません。
- D・M 2 (ユーザーメモリー) の初期設定は、AM 1620 kHz になっています。
- AMバーチャルステレオ受信、およびFMダイバーシティアンテナ受信はできません。(P.35 参照)
- D・Mモード中はサウンド・音場、サブウーファー出力等の設定変更ができません。

一時的に音量を下げる

ミュート/アッテネータ

MUTE (ATT) ボタンを押すと、一時的に本機の音量が下がります。音量の下がりかたは、設定 (MUTE または ATT) によって異なります。(P.37 参照) [初期設定: MUTE OFF]

MUTE (ATT) ボタンを押す。(再度押すと、解除)



設定がMUTEの場合

MUTE OFF : 通常の音量。

MUTE ON : 本機の音量が 0 (無音) になる。

設定がATTの場合

ATT OFF : 通常の音量。

ATT ON : 本機の音量が約 1/10 に下がる。

- ミュート/アッテネータが「ON」のときは、MUTEインジケータが点滅します。

外部機器の音声を聴く

AUX IN

後面のAUX 入力コードに外部機器を接続してください。(P.54 参照)

SOURCE ボタンを押して、「AUX IN」にする。



各々の外部機器で操作します。詳細は、取扱説明書をご参照ください。

ナビの音声案内を聴く

ナビミュート

別売のカーナビゲーション(CN-DV3300GWD等)、およびナビミュートコードを接続してください。

カーナビゲーションの音声案内を聞き取りやすくするため、音声案内時には、自動的に本機の音量が下がります。ナビミュートの音量レベルは、設定できます。(P.34 参照)

お知らせ

- ナビミュートがはたらいているときは、「MUTING (HALF)」と表示されます。
- ハンズフリー通話中(P.42 参照)の受話音量は、ナビミュートされません。

ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ

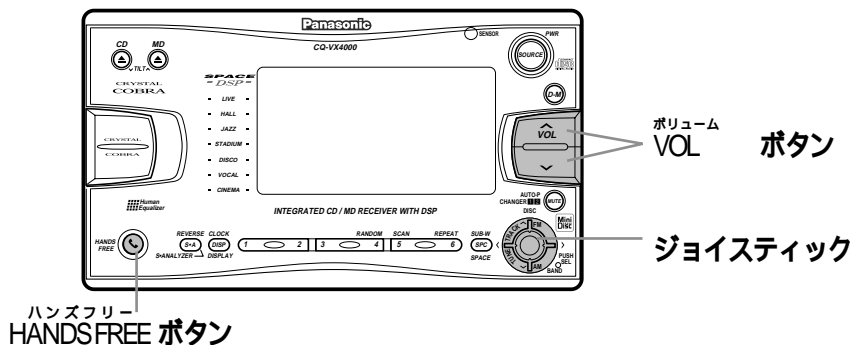
ブラックライトは、別途購入・取り付けが必要です。

ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディープブルーに光り、浮かび上がります。

お願い

ブラックライトを取り付けるときは、本機から20 cm 以上離してください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

便利な機能(つづき)



電話機を持たずに通話する

ハンズフリー通話

別売のハンズフリー通話キット CA-HF1000D と、下記のデジタル または i モード携帯電話(以下 電話機) を変換アダプターで接続してご使用ください。(P.44 参照)

対応機種 (2000年3月現在)

NTT ドコモ「デジタル・ムーバ P (パナソニック製)」

- デジタル携帯電話 : P208, P207, P206, P205
- i モード携帯電話 : P502 i, P501 i

交通事故の原因になりますので、
運転中は電話をかけないでください。

ハンズフリー通話機能を使用する/しないを選ぶ

① 本体のHANDS FREE (以下 HF) ボタンを2秒以上押し、

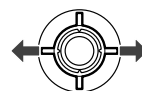


2秒以上押し

② ジョイスティックを左右に倒す。

ON
使用する
(初期設定)

OFF
使用しない



お願い

- 電話の「着信音量」と「受話音量」は、最大にしておいてください。
- 電話の「着信バイブレータ」や「マナーモード」「オリジナルマナーモード」は、解除してください。
- 電話機の操作は、各々の取扱説明書をご覧ください。 **運転中の電話操作はおやめください。**

お知らせ

- 以下のような電話の機能に反応して、“リーン”という「着信お知らせ音」が鳴ることがあります。
電話のボタン確認音/メール着信音/着信バイブレータ/アラーム音(タイマー機能)など
電話をご使用になる場合には、電話機からコードのプラグを抜いてください。
- 電話を相手が先に切ったときの「ツーター」という話中の音が長い場合には、“リーン”という「着信お知らせ音」が鳴ることがあります。
- 本機の音量がミュート中は、着信されません。
- 「ツーター」という話中の音に似た音などに反応して、自動的に回線が切れることがあります。
- 本機の電源が切れていても、着信するとHFモードに切り替わります。
- HFモードは、エンジンを再スタート(またはACCをOFF/ON)すると、通常モードに戻ります。
通話を続けたいときは、HFボタンを押してHFモードにしてください。(長く押しと切れてしまいます)
- 通話中にエンジンを再スタート(またはACCをOFF/ON)すると、回線が切れることがあります。
エンジン(またはACC)をOFFする前に、電話機の接続コード(プラグ)を抜いてください。

通常モード

電話がかかってくると

センタースピーカーから



「着信お知らせ音」が鳴り、ボタンなどの照明が点滅します。(約10秒間)

電話をかける（発信する）には

交通事故の原因になりますので、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

① HF ボタンを押してHFモードにする。

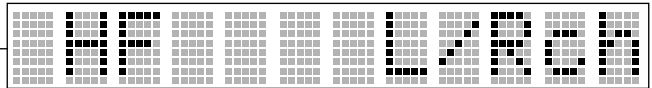


② 電話機でダイヤルし、電話をかける

押す

通話の终えかた（切断）は下記をご覧ください。

HFモード



電話に出る（応答する）には

HFボタンを電話がつながるまで押し続ける



すばやく応答できるよう、他のどのボタンでも可 押し続ける

相手の声
フロントスピーカーから ももしし?

● 本機の音は、消音されます。

通話状態（応答・切断）は、電話機のディスプレイでご確認ください。

途中で指を離してしまうと、モードだけが切り替わります。

通話を終える（切断する）には

相手が先に切ったとき
(自動終了)

「ツーツー」という話中の音が聞こえ、約3秒で自動的に電話が切れる

自分から先に切るとき
(手動終了)

HFボタンを電話が切れるまで押し続ける



押し続ける

応答できないときは

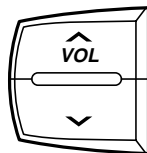
- ① HF ボタンを押して通常モードに戻し、
- ② もう一度、ボタンなどの照明が点滅している間に電話がつながるまで HF ボタンを押し続ける。

切断できないときは

- ① HF ボタンを押してHFモードに戻し、
- ② もう一度、電話が切れるまでHF ボタンを押し続ける。

受話音量を調整するには

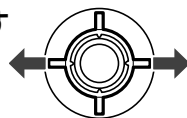
HFモード中に VOL ボタンを押す



相手の声を出力するスピーカーを切り替えるには

HFモード中にジョイスティックを右に倒す
(左に倒す：逆周り)

L/R L R



お願い

電話機の終了ボタンで回線を切断しないでください。

HFモード中で、電話が切れているときには

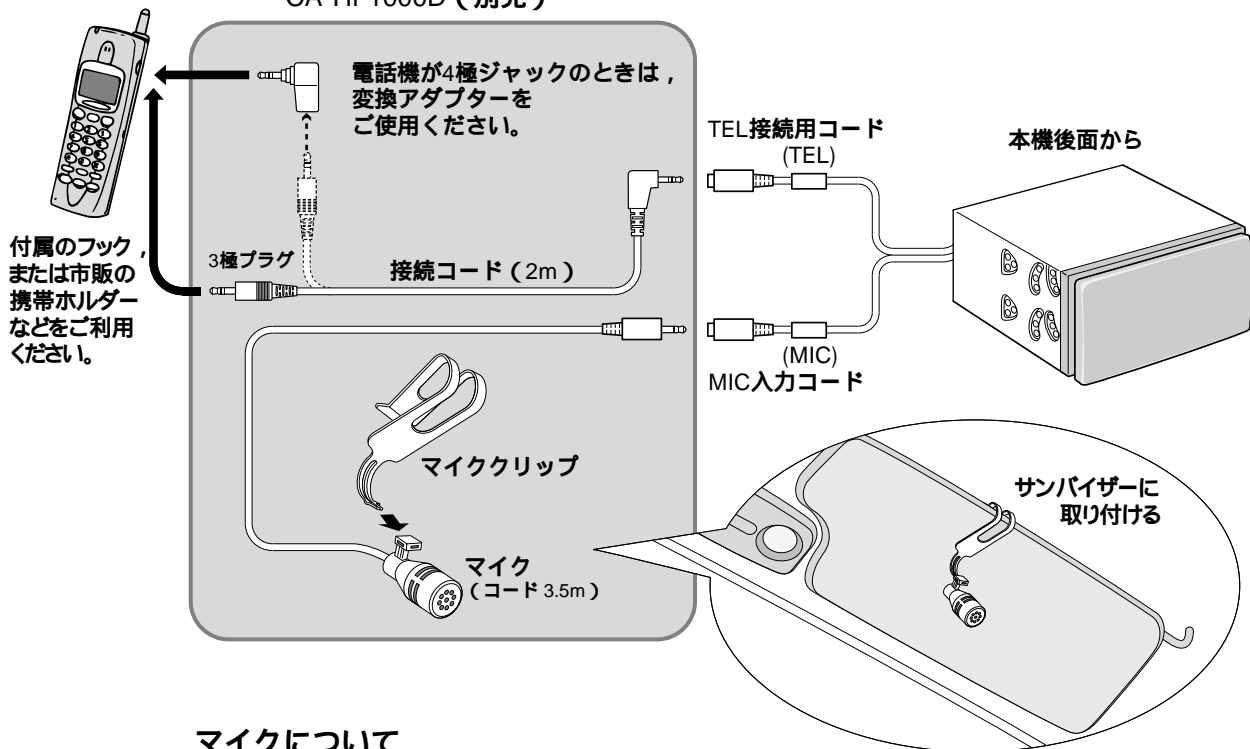
HFボタンを1秒以上押すと

電話のメモリ番号 099 に記憶されている電話番号へ自動発信することがあります。

便利な機能 (つづき)

配線・取り付けのしかた

ハンズフリー通話キット CA-HF1000D (別売)



マイクについて

- 必ず付属のマイクをご使用ください。
- 運転者になるべく近い(口もとから20cm~40cm)位置に取り付けて、口もとに向くように、マイクとサンバイザーの角度を調整してください。

お知らせ

携帯電話の充電器は使用しないでください。ノイズや着信誤動作の原因になることがあります。

お知らせ

- 通話状態(応答・切断等)がわかるように、携帯電話のディスプレイが見える位置に置いてご使用ください。
- 電話機を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。位置や向きを調整し、本機から離してください。
- ハンズフリー通話キットに付属されているフック(電話機設置用)、およびクランパー(コード固定用)は、必要に応じてご使用ください。
- ハンズフリー通話キット CA-HF1000D に充電機能はありません。

ディスクの取り扱いについて

CD（コンパクトディスク）

使用できるCD



のマークが入っているものを、
ご使用ください。

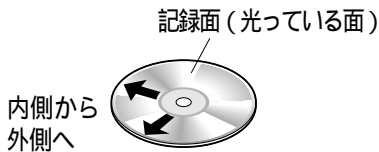
持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ってくだ
さい。



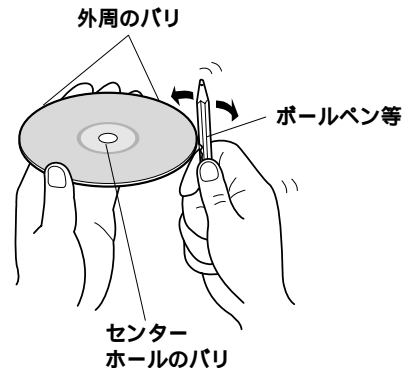
CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



新しいCDを聴くときは

バリを取り除いてください。動作しないことがあります。



取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、
次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
 - CDが回転する方向に拭かない
 - ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
 - CDを曲げない、キズを付けない
 - 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
 - 紙やシールを貼らない
- 本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは
使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCD
や、プロテクトフィルムやスタビ
ライザーなどのCDアクセサリを使用
すると、故障の原因になります。

ディスクの取り扱いについて (つづき)

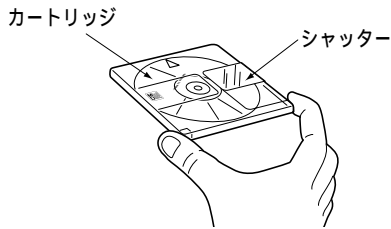
MD (ミニディスク)

使用できるMD

録音済みの音楽用MDをご使用ください。

MDが汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

MDそのものの破損，および機器の故障の原因になることがありますので，次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には，直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
本機の中で引っかかり，故障の原因になります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください。

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使いますとケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



使用しない

故障かな!?

ご確認ください

共通

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」の位置でも可)	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	54~55
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	54
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを、車のACC電源に接続してください。	54
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車体の金属部に接続してください。	54
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	59
音が出ない。	音量が下がっている	音量を上げてください。	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	54~55
	ナビミュートコードが正しく接続されていない(MUTINGの文字が表示されている)	ナビミュートコードを正しく接続してください。	41 54
	ミュートが「ON」になっている。	「OFF」にしてください。	41
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	
ボタン操作ができない。	デモモードになっている。	デモモードを解除してから操作してください。	10
	ナビミュートがはたらいている。	ナビミュート中でないときに、操作してください。	41
時計が調整できない。	電源が入っていない。	PWRボタンを押して、電源を入れてから調整してください。	10
雑音が出る。	携帯電話が本機の近くにある。	携帯電話の位置や向きを調整し、本機から離してください。	

ラジオ

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
FMステレオ放送，モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり，放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	14
プリセットしたはずの放送局が，解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	54

CD / MD

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
CD/MDを挿入しても音が出ない。	CD/MDが裏返し。	ラベル面を上側にして，正しい方向で入れてください。	16, 18
	MDの挿入方向が違う。		
	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い”の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	46~47
	データ用MDまたはブランクMDである。	音楽用MDまたは音楽が録音されているMDをご使用ください。	46
CD/MDの音がとぶ。音質が悪い。	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い”の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	46~47
振動により音がとぶ。	取り付け角度が30°を超えている。	取り付け角度を30°以内に調整してください。	56
	取り付けかたが不安定。	“取り付けのしかた”を参考にして，本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	56
CD/MDがイジェクトしない。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD/MDの不良。 ● メカの不良。 	イジェクトボタンを押してください。動作しないときは，リセットスイッチを押してください。	16, 18
		それでも正常に戻らない場合は，お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。	53
			59

故障かな!?(つづき)

サウンド設定

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
左右前後の何れかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BAL/FAD を適切に調整してください。	26
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	54~55
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	54~55
センタースピーカーから音が出ない。	センタースピーカー音量レベルが - dBに設定されている。	センタースピーカー音量レベルを - dB以外にしてください。	28
リアスピーカーから低音、またはモノラル音声しか出ない。	SBC-SW が「OFF」以外に設定されている。	SBC-SW を「OFF」に設定してください。	27
リアスピーカー、リヤプリアウトから音が出ない。	SBC-SWが「OFF」以外に設定され、DDBC音量レベルが - dBに設定されている。	DDBC音量レベルを - dB以外にしてください。	27, 30
プリアウト 外部出力から音が出ない。	DDBC音量レベルが - dBに設定されている。	DDBC音量レベルを - dB以外にしてください。	30

リモコン

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(+)(-)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	7
	電池の種類が正しくない。	電池を確認してください。	7
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	7
	リモコンの方向が正しくない。	本体の SENSOR (リモコン受光部) に向けて操作してください。	8

ハンズフリー通話

着信しない	<ul style="list-style-type: none">● 着信音量のレベルが小さい。 電話機の着信音量レベルを大きくしてください。● 着信しにくいメロディ着信音を、ご使用になっている。 電話機の着信音パターンを変更してください。
自動終了しない	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の電話機に対応していない。(P.42 参照)● 車内に他の通話中の電話があったり、雑音があるなど、電波の受信状態がよくない。 HFボタンを押し続けて、手動で通話を終了してください。
相手に声が二重に聞こえたり、相手の声が歪んで聞こえる	<ul style="list-style-type: none">● 本機の音量レベルが大きすぎる。 音量レベルを小さくしてください。 それでも歪んで聞こえるときは、電話機の受話音量レベルを小さくしてください。
雑音などにより、相手の声が聞き取りにくい/相手に声が伝わりにくい	<ul style="list-style-type: none">● 電波が弱い。● ハンズフリーシステム同士で通話している。● 周囲の騒音が大きい。 窓を閉める、エアコンを切るなどしてください。● シガライターで充電している。 充電器をはずしてください。● 相手と同時に話さず、交互にお話してください。

故障かな!?(つづき)

こんな表示が出たら

CD/MD

表示例	原因	動作	確認・処置
CD - E1 - MD - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている, 裏返しになっている。 ●挿入したMDが, データ用または録音されていない。 	自動的に, ディスクが排出される。	ディスクを取り出して, ご確認ください。
CD - E2 - MD - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD - E3 - MD - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	イジェクトボタンを押してください。動作しないときは, リセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は, お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
⊖ PLS EJECT ☐ PLS EJECT	イジェクト動作が完了していないときに, 再生を始めようとした。	—	ディスクを取り出して, ご確認ください。

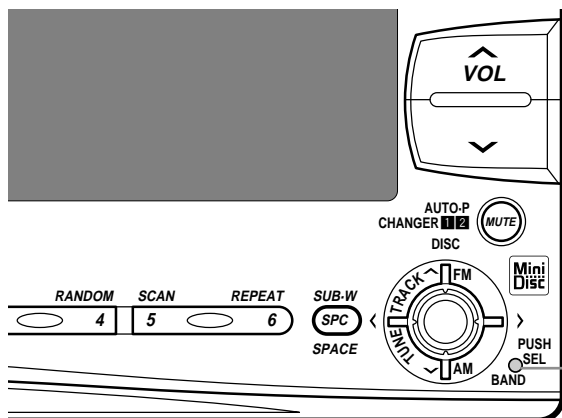
チェンジャー

表示例	原因	動作	確認・処置
CD CH - E1 - MD CH - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている, 裏返しになっている。 ●挿入したMDが, データ用または録音されていない。 	自動的に, 次のディスクに替わる。	ディスクを取り出して, ご確認ください。
CD CH - E2 - MD CH - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD CH - E3 - MD CH - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	チェンジャーのイジェクトボタンを押してください。動作しないときは, チェンジャーのリセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は, お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
NO DISC	チェンジャー(マガジン)に, ディスクが1枚も入っていない。	—	チェンジャー(マガジン)に, ディスクを入れてください。

お知らせ

- E1, E2の前に, エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。
- チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳細は, ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

リセットについて



お願い

どのボタンを押しても動作しない場合に、リセットしてください。
それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に修理をご依頼ください。

リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒などを入れて、スイッチを押す。

- 回復後、初期の状態に戻ります。
記憶した内容や設定が解除されますので、ご注意ください。

万一、異常（ヒューズの溶断など）が起こったら

すぐに電源を切ってください。

煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから電源接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に修理をご依頼ください。お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

配線のしかた

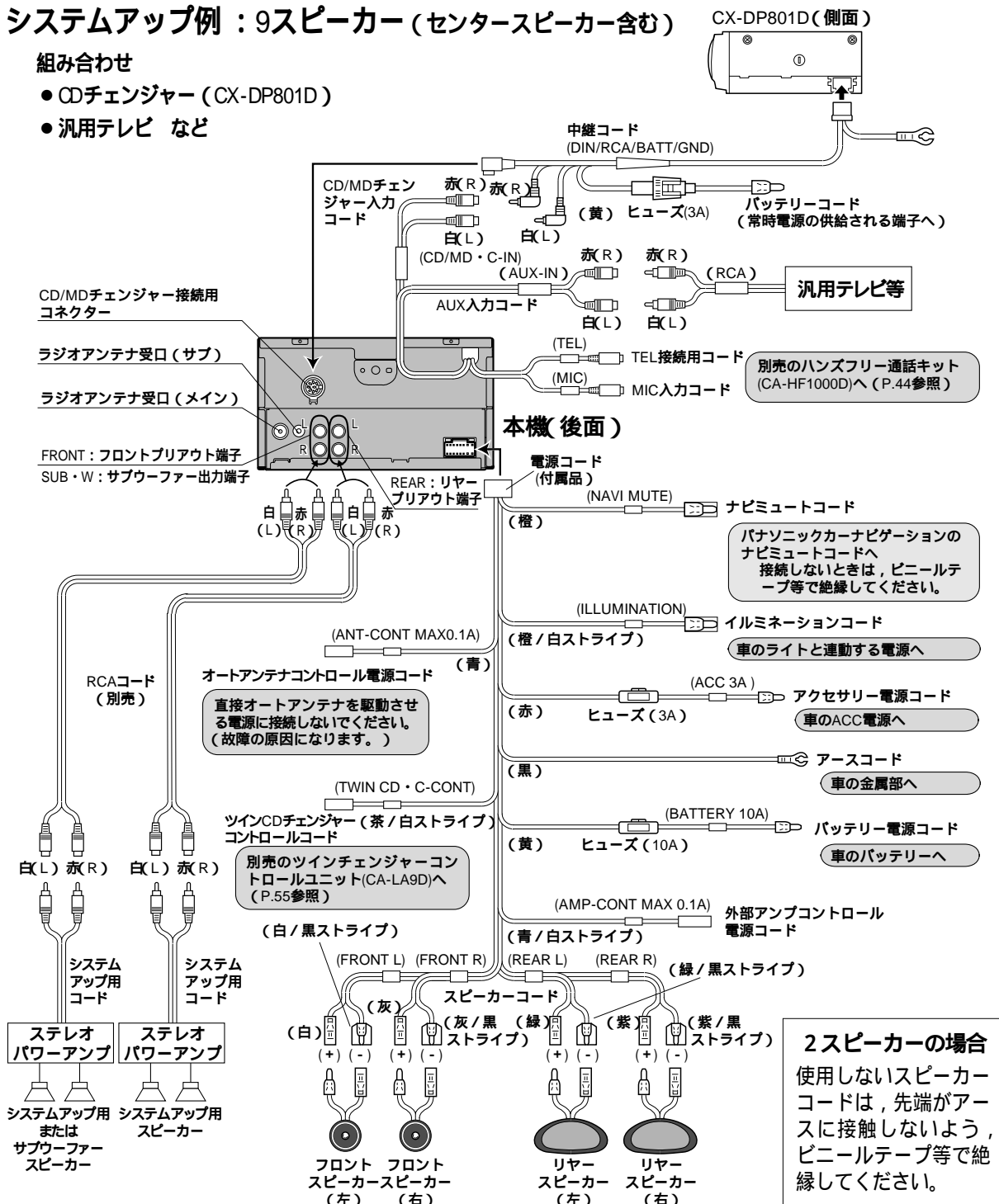
- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

システムアップ例：9スピーカー（センタースピーカー含む）

組み合わせ

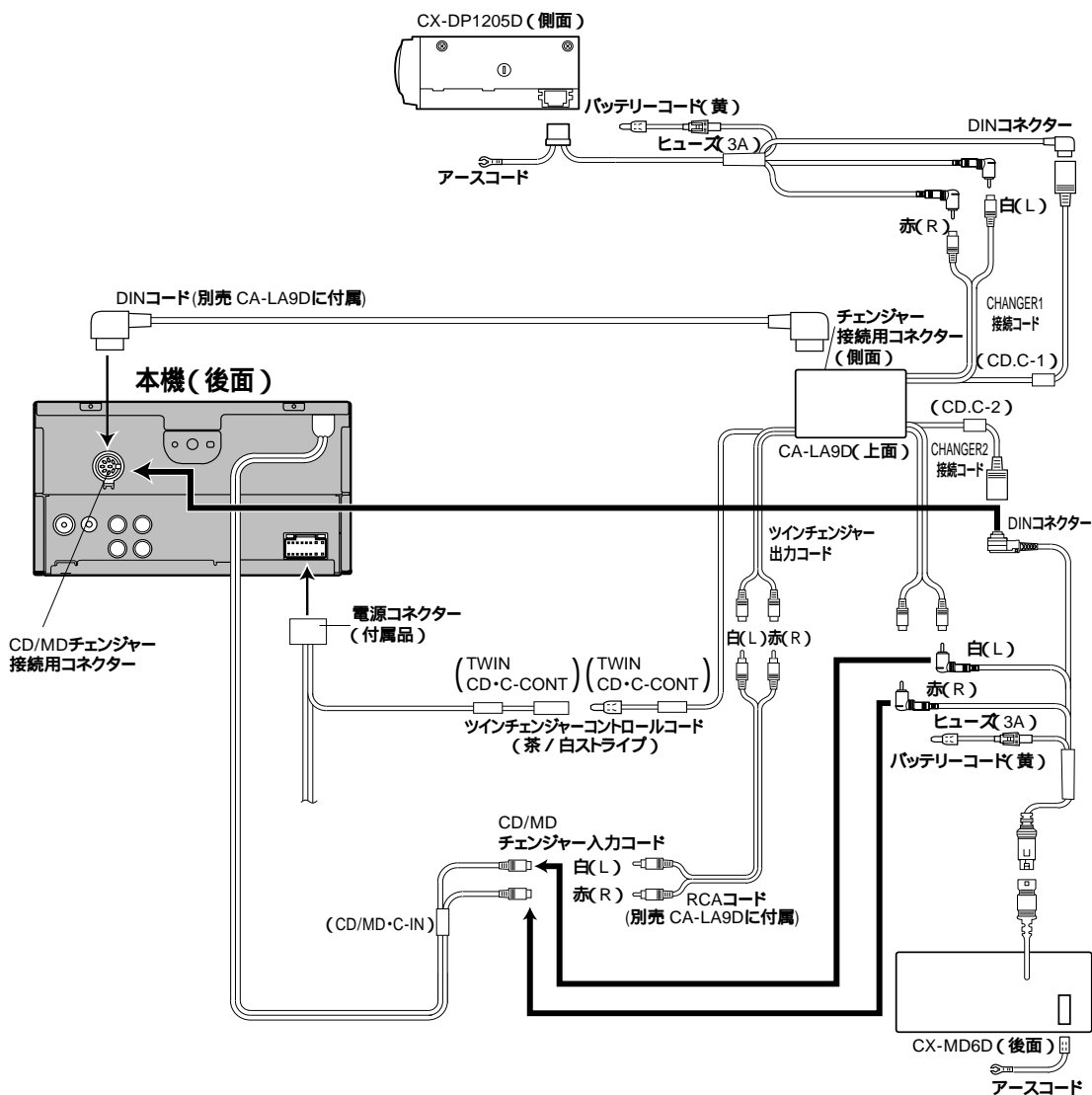
- CDチェンジャー（CX-DP801D）
- 汎用テレビ など



システムアップ例：チェンジャーを接続する

組み合わせ CDチェンジャー (CX-DP1205D), MDチェンジャー (CX-MD6D)

- 2台接続する場合には、別売のツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。
- 1台の場合は、太線 (←) のように接続します。(接続例：MDチェンジャー)



⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切ったり、他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電、故障の原因になります。

取り付けのしかた

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実装、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け用付属品

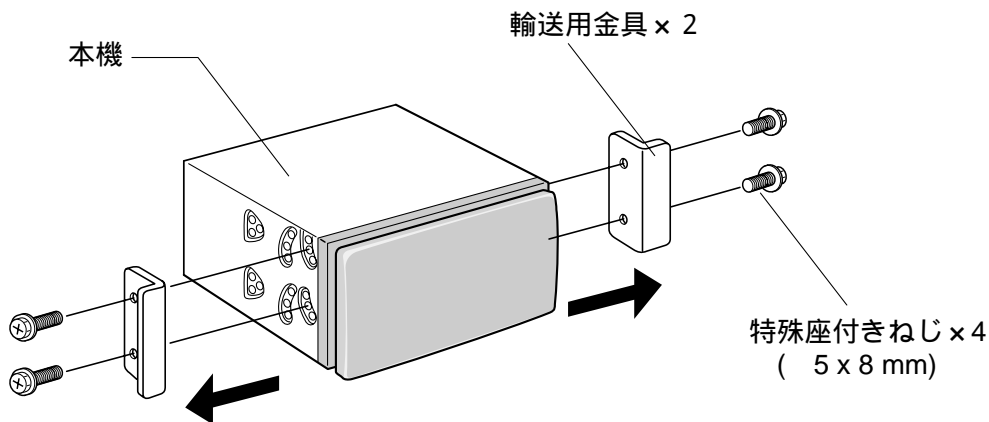
添付の袋には、下表の実装用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	特殊座付きねじ (5 x 8 mm)	4
②	特殊皿ねじ (5 x 8 mm)	8

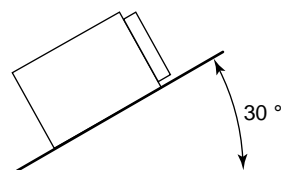
取り付けのお願い

取り付け前に必ず輸送用金具をはずしてください。

特殊座付きねじ (5 x 8 mm) 4本は、実装のときに使用します。紛失しないようご注意ください。

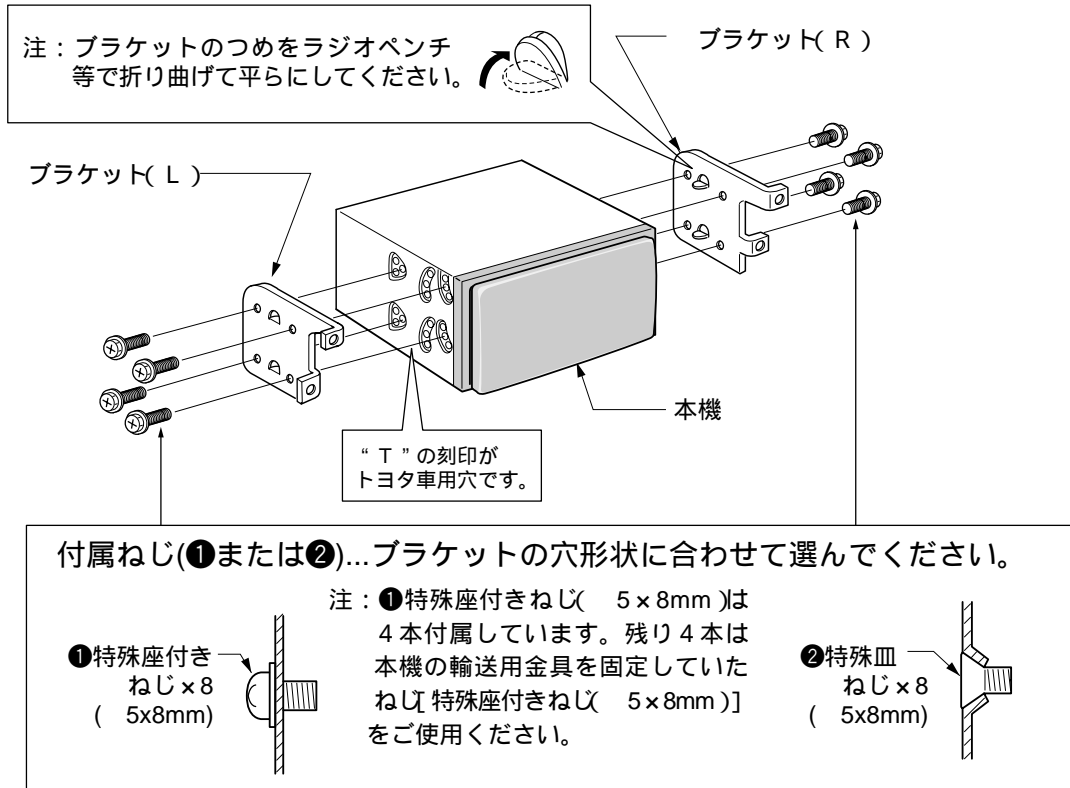


- 実装する場所によっては、本機のパネルやセンタースピーカーがシフトレバー等にあたる場合もあります。販売店にご相談ください。
- 実装には、車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- 本機の実装用の穴にはタップ加工がありません。付属のねじをまっすぐに押しながら締め付け、タップ加工をして実装してください。
- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で実装してください。



トヨタ車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

1. 車両からカーラジオ・小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属ねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット（別売）が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

日産車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

- 日産 2 DIN サイズ採用車専用に標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、年式、車種、グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もありますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

上記以外の車に取り付ける場合

汎用（別売）または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。

お知らせ

2 DIN サイズ採用車とは、オーディオスペースに通称セット幅 180 mm、高さ 100 mm サイズが搭載できる車です。

仕様

共通

電源電圧	: DC 12 V (試験電圧14.4 V) ⊖アース
消費電流	: 8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1 %, 4)
最大出力	: 40 W × 4 CH
センタースピーカー出力	: 10 W
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 700 mV (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 600 mV
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 100 × 奥行 160 (mm)
質量	: 2.7 kg

DSP部

チャンネル数	: 入力2チャンネル, 出力6チャンネル
スペースモード	: 7種類
イコライザー中心周波数	: 80, 160, 320, 640, 1.6 k, 4 k, 10 k (Hz)
イコライザー可変範囲	: -12 dB ~ +12 dB (13段階)

チューナー (ラジオ) 部

FMチューナー部

受信周波数範囲	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度	: 12 dBf
全高調波ひずみ率 (モノ)	: 0.3 % (1 kHz)
聴感補正SN比 (モノ)	: 70 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz ± 3 dB
分離度	: 42 dB (1 kHz)
実効選択度	: 75 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

MDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

NAVI は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときは電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室



コー パナソニック

0120 - 50 - 8729

フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00 ~ 17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）

必要
な
と
き
に

便利メモ（おぼえのため，記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-VX4000D
販売店名	☎ () -		
お客様ご相談窓口	☎ () -		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283556A B0500-1060